

経営発達支援事業(実施期間令和2年4月1日～令和6年3月31日)

【令和3年度事業実施報告】

期間 令和3年7月27日～令和4年2月24日

	事業区分	事業名	実施内容	補助金事業	R3 判定	R4事業継続意見
1	地域の経済動向調査に関すること	小規模事業者の景気動向調査	昨年と同時期の9月にコロナウイルス感染症の影響による地域状況調査を会員事業所を対象に実施し運営委員会においてアンケート結果を報告しました。	自主事業	C	町への要望に活用してほしい。アンケート内容を現況把握する内容を検討してほしい。
2	経営状況の分析に関すること	経営支援ツールを活用した経営分析	クラウド型経営支援ツール「Bizミル」を活用し会員事業所の補助金支援情報や融資斡旋、財務諸表を入力し経営分析用の資料カルテ作成	補助事業	B	現状は、支援事業者の資料収集が主の事業となっている。今後収集データを活用した支援を行ってほしい。
3	事業計画策定支援に関すること	経営分析を行なった事業者を対象に事業計画を作成	中小企業診断士の経営窓口相談会を実施しました。結果、相談件数延10件のうち2事業者の経営計画を作成し持続化補助金や創業計画に活用しました。	補助事業	C	経営計画書作成や支援事業数は、当初計画の件数に達していないので次年度は計画の精査をしてほしい。
4	事業計画策定後の実施支援に関すること	事業計画策定先へ専門家を活用したフォローアップ	中小企業診断士による事業計画フォローアップ個別相談を9月、10月に実施しました。結果、相談件数延4件 1事業者の経営計画書を作成し経営革新の申請に繋がりました。	補助事業	C	経営計画書作成や支援事業数は、当初計画の件数に達していないので次年度は計画の精査をしてほしい。
5	需要動向調査に関すること	物産展等の試食、アンケート調査結果のフィードバック	物産展やイベントにおいてアンケート調査を事業者へフィードバック計画は、コロナ禍によりアンケート調査が難しいので見送りました。	未実施	E	コロナ禍での物産展やイベントでのアンケート調査が難しいと思うが、今後の状況を見て検討してほしい。
6	新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	西伊豆自慢品のブランド価値を高めるPR	自慢品をブランディングするため以下の事業を実施する。①オリジナル認定ロゴを制作し差異化の実施 ②卓上のぼりの制作による自慢品認知度の実施 ③カタログ製作をし西伊豆自慢品のPRの実施 【目標数値】西伊豆自慢品認定数66品 対前年比売上増3%	補助事業	B	自慢品を含めた既存商品のブラッシュアップをはかってほしい。
7	地域経済の活性化に資する取り組みに関すること	地域経済を協議する組織をつくり	運営委員会を第1回を10月、第2回を12月の2回開催しました。・内容は、令和3年度事業計画と経済状況報告・地域経済状況懇談会を金融機関と実施実施事業の成果、評価を報告PDCA検証を実施。	自主事業	B	金融機関との懇談会は継続して実施してほしい。

判定評価 A:目的達成 B:ほぼ達成 C:半分程度達成 D:ほとんど達成しなかった E:実施しなかった